

Australia Gold Coast Club 受入れ

2012年 5月9日(水)～18日(金)



- | | | |
|---------|--------|---------------------------|
| 5/9(水) | 18:20 | 関空到着 出迎え |
| 5/10(木) | 10:45～ | 顔合わせ (サンマルク) |
| | 12:30～ | 日本文化体験 (はばたき) 着付け、書道、折り紙、 |
| 5/11(金) | 10:30～ | 奈良公園散策→南大門、大仏殿、二月堂、春日大社、 |
| 5/12(土) | | 自由行動 (お茶会、大阪観光など) |
| 5/13(日) | 13:00～ | 歓迎パーティー (はばたき) |
| 5/14(月) | 9:00～ | 京都観光→高の原集合、金閣寺、銀閣寺、三十三間堂、 |
| 5/15(火) | | 京都観光→清水寺、三年坂、二年坂、友禅体験、 |
| 5/16(水) | 11:00～ | 高の原着→自由行動 |
| 5/17(木) | | 自由行動 |
| 5/18(金) | 8:38 | 近鉄高の原駅 見送り |



初めての ED

張替 令子

東日本大震災のために一年遅れとなったゴールドコースト・クラブの受入れ。長かった待ち時間に比べて、楽しい交流の日々は、あっという間に終わりました。ただ私にとって、EDが初めてだったばかり

かホストも初めてでしたから、待ち遠しい一方不安もいっぱいでした。その点この一年は、FF活動では先輩のゴールドコースト ED・Maureen と事前のメール交換が十分にできたこと、心の準備ができたことなど、私には幸いでした。

あれこれ反省はありますが、とにかく皆さん無事に帰国されて ED ほか多くの方から感謝のメールを頂き、決まったように perfect の文字があって、満足の様子が読み取れ、喜んでいました。

ひとえに大西会長はじめ FF 奈良会員の方々の多方面にわたるサポートがあつてのことで、心から感謝しています。ありがとうございました。



サンマルクでの顔合わせ。1年越しの出会いで、事前にお見舞いや励ましのメールなどいただいていたので、初対面とは思えぬ親しみがありませんでした。

日本文化体験



“日本へ行ったら一度は袖を通してみたい”と言われているきもの。日本文化体験の定番ですが、今回は男性も年配の方も、全員がなかなかの着こなし。着付けの腕があがったからでしょうか



一枚の紙から、立体的な様々なものを創造する折り紙ってすごい文化だと、ゲストの驚きを見て、あらためて思いました。今回の書道は、白い団扇の上に、好きな言葉を漢字で書いたり、あるいは英語の名前に漢字を当てはめて書いたりして、出来上がったオリジナル団扇を持って、パーティーのとき踊っていただくことにしました。力作、労作、水茎の跡！？

奈良公園散策

今年から、奈良公園散策は会員誰もがガイド役になれることを目標に、FFオリジナルテキストが作成され、予め配布されました。効果あって、ほら、マンツーマンで説明しているでしょう。混み合っていた公園内を小グループで行動できたのがよかった！そして一気に案内の自信もつきましたよね！



奈良公園はちょうど藤の花の季節。さらに修学旅行の季節でもありました。多くのアンバサダーが修学旅行の子ども達につかまって、たどたどしい英語のインタビューを受けていました。鹿には目もくれず、外国からの観光客を追いかける子ども達。(英語教育の一環で先生から言われていたみたい)鹿はお腹が空いていたのか、すねているのか、手に持っていた「受入れのしおり」に噛みついてきました。手前の鹿がくわえているのは、噛みちぎった「しおり」です。

京都観光

ホームステイの途中で2日間ホテル泊の京都観光という形がどうやら定着しました。今回も金閣寺(写真下)、清水寺(写真右)をはじめ、銀閣寺、三十三間堂、錦小路や友禅染大賢工房、さらにはオプションで日本の伝統芸能を紹介する「祇園コーナー」まで、それぞれ数名でアテンドしました。



京都観光に随行した後、後半の3日間、初めてホストをしました。迎えたのは Margaret と Voni の二人。京都観光の途中、お二人が買物をしたそうだったのを察して、奈良でショッピングに誘ったら、大喜びで羽織を3枚も買いました。ジャケット風に羽織るのだそうです。ちょっとびっくりですが、実は1枚500円でゲットしたのです。

樋室富佐子

初めてのホスト



楽しかった初めてのホスト。お話好きですがすぐ寝てしまう Shirley と無口でゲーム好きの Glenis とは、もうちょっと夜遅くまでおしゃべりしたかった。

洗濯機に知らぬ間に下着が入っていて驚いたけれど、“ここが我が家”と思ってくれていると思えば、親しみが増しました。

松本朱美

フリータイム



5月13日はちょうど母の日。Barry は私に鉢植えのアジサイを買ってきてプレゼントしてくれました。オーストラリアへ帰ってからも、メールだけでなく、電話がかかってくるのです。 濱田



オチャメで世話好きな Lance は、よくキッチンへ来て手伝ってくれました。そういえばお茶会に招かれた滋井邸でも手伝って？いましたね。「日本で5人のメル友をゲットした」といって、5人のところへはいまも頻繁にメールを送ってきます。 阪井

物静かな Bob と肝っ玉母さんタイプの Jo 夫妻を、フリーデーに大阪へお連れしました。新世界のジャンジャン横丁でたこ焼を食べ、通天閣に登ってピリケンに挨拶し、長居公園でバラとシャクナゲを観賞しました。 河村



フリータイム



水の都・大阪の中心部を川から眺めるクルーズ。

Patricia が空にカメラを向けているのは、珍しくサークルの虹が出ていたから。昼食後は心齋橋から戎橋、法善寺横丁へ。“これぞ大阪”を見聞した一日でした。



滋井邸のお茶会の前に、こんなサプライズを企画していただいていたました。

まず近くの竹林で折から旬のタケノコ堀り。日本人でさえなかなか体験できない自然とのふれあいに大いに感動された様子でした。

お昼には地元の竹をつかって「ソウメン流し」が振舞われました。流れ降りるソウメンを捕まえるのに、真剣そのものの顔、顔、顔。

本番のお茶会も、所蔵のお道具や調度品の中から、吟味しておられる心遣いが伝わってきました。滋井邸へは他日、もう1グループお茶会に招待していただいています。

2人のアンバサダーを受け入れておられた上での滋井さんのホスピタリティに、感謝、感服！ 会員一同、心から「ありがとうございました」



我が家の客人、前会長の Viv と Gloria 夫妻を法隆寺へお連れして「現存する世界最古の木造建築で先日行った東大寺よりさらに百年は古い」と説明したら、「フーン??」といった顔をしていました。オーストラリアそのものが全く存在しない時代のことだから無理もないですね。 藤田



狸で有名な陶芸の里・信楽へ、アンバサダー3人＋ホスト3人＝女6人の賑やか旅行。狸の大群に囲まれてきました。 奈良から車で約1時間の信楽はゲストにも好評のスポットです。

歓迎パーティー



歓迎パーティーはすべて手づくりで

- ★ まずお料理が、会員手づくりのポットラックがメイン。すでにお互いの得意料理がわかっているので、バラエティに富んだお料理の数々がバランスよくご提供できたと思います。はじめ、見かけで敬遠されていた「おはぎ」も、日本人がおいしそうに食べているのに触発されて手が出るようになりました。
- ★ プレゼントも手づくり。きものからリフォームしたタペストリーや一人ずつへのお土産もすべて手づくりグループの尽力によるもの。さらにその説明も制作者自身ががんばって英語で。
- ★ 司会は藤田由紀子さん。
- ★ 日本舞踊は内田堯子さん。
- ★ パフォーマンスはもうお馴染み、ハッピーガールズがお揃いのはっぴで熱演。ゴールドコースト・クラブも国旗を振ってご当地ソングを熱唱。

ハンドメイドの温もりを感じとり、受け取ってくださった今回の交流は、自由行動の時間もたっぷりあって、アットホームな温かい心の交流ができたように思います。



見送り

近鉄高の原駅でのお別れ<写真左>。何名かは近鉄特急に同乗しく写真右>て、新幹線京都駅までお見送り。アンバサダー一行、そこからFF熊本クラブのもとへと向かいました。

